

# あしたの風

第86号

平成30年2月1日 発行  
編集発行 秋田市教育委員会  
生涯学習室

秋 田 市 の 生 涯 学 習



雄和萱ヶ沢番楽より

☆☆北部地区☆☆

ハピネットス球団の里

上新城ハピネットスビレッジ構想協議会長

永田賢之助

上新城地区の中学校が統合で消えてから、校舎だけがひとり空しく残されていました。地域文化の拠りどころを失っただけに、なんとかしてこの空き施設を転用して、地区の活性化をはかれないかと、目をつけたのがプロバスケットボール「秋田ノーザンハピネット」の練習場でした。



構想から七年で、今ようやくそれが実現しようとしています。当面、体育館が同球団のユースチームの拠点に決まって、去年の秋から活用され始めました。

私たち構想協議会としての希望は、「ユース」の場のみに終わらず、北部地域をエリアに、青少年の健全育成を目指した「ハピネット・ジュニアスクール」の開設です。年が明けたこの三十年の春から、広く市内の子どもたちに参加を呼びかけようとしていたところ。指導には球団のユースの選手が当たりますので、ハイレベルの技術習得が期待できます。地域としては、来場者への軽食の提供ができるように準備を進めています。

ハピネットスアカデミーのポスターより

秋田ノーザンハピネット アカデミー  
バスケットボールスクール

チーム練習をしないから、スクールや部活動に所属しててもOKだよ!!

ハステやるべ!

無料体験レッスン 随時開催!!

もっと上手になりたい君のためのスクール 生徒募集中!!

この一帯はリンゴの花咲く丘で、みどり豊かな新城の邑々を一望にする、縄文遺跡の地です。ワラビ、ゼンマイ、鳴きやまないキリギリス、蟬の声いっぱいなど、四季おりおりの風情があります。市民の学習と憩いの場として、皆様のご来遊を心からお待ちしております。

春には満開の桜でお出迎えます



☆☆雄和地区☆☆

雄和萱ヶ沢番楽について

萱ヶ沢番楽保存会会長 工藤 健郎

萱ヶ沢番楽のある秋田市雄和萱ヶ沢は、ほとんどが山地で集落や田畑などが点在する地域です。

萱ヶ沢番楽は、昭和五十三年に秋田市無形民俗文化財に指定され、天明元年（一七八一）、赤田（現由利本荘市）の長谷寺住職是山和尚が土地の人々に信仰と娯楽をあわせもつ獅子舞番楽を教えたのが始まりとされています。

萱ヶ沢番楽は「立ち獅子」という珍しい舞で、動きが激しく勇ましいのが特徴です。元々は二十四演目ありましたが、現在では十二演目となっています。



伝える、学ぶ、共に真剣！

会員の高齢化に伴い、今後の後継者育成の一環として旧大正寺小学校長の助言や教職員の協力により、授業の妨げにならないよう児童へ番楽の指導をしたところ、覚えも早く、習得に努力を惜しみませんでした。

旧雄和町からの勧めもあり、習得した番楽を鑑賞していただこうと、小学校の学芸発表会に出演いたしました。萱ヶ沢番楽のカギとなる「子ども番楽」がここから始まったのであります。

現在は、年間三大行事である地元の日枝神社例祭に合わせて行う「幕開き」、お盆の「門払い」、年間の出番を終え、諸道具・衣装等の虫干しや修理、権現堂への格納などを行う「獅子収め」のほか、秋田市民俗芸能合同発表会でも舞を披露しています。

昭和五十年、萱ヶ沢番楽保存会設立以来、保存伝承活動に地域全体で力をいれています。また、子どもたちも伝統芸能に携わることに意義とやりがいを感じながら、舞の練習や各種発表会に臨んでいます。

伝統を受け継ぎ、披露する



☆☆東部地区☆☆

クリスマスリース作りに参加して

東部地区生涯学習奨励員 坂田谷 義憲

息子たちが小さい頃はクリスマスシーズンになると、一緒にクリスマスツリーを飾ったり、プレゼントを何にしようか悩んだりしたものでしたが、夫婦二人になったここ何年かは、クリスマスは自分たちにあまり関係のないものになっていました。今年度から生涯学習奨励員となって、十一月二十五日に東部市民サービスセンターで行われたクリスマスリース作りの講座に参加し、生まれて初めてクリスマスリースを作りました。

クリスマスリースの制作風景



やってみると意外と簡単。ツルでベースになる輪づくり、それに樅や杉の葉をつけたり、松ぼっくりをつけたりしていくだけ。グルーガンを使うと簡単にいろいろな飾りをツル

につけることができませんでした。参加者の皆さんは、講師が事前に作ったいくつかのリースを参考にしながら思い思いに工夫して飾り付け、オリジナリティのある素敵ナリースを作ることが出来ました。ところで、クリスマスリースにはどんな意味があるのだろうか？インターネットで検索してみました。クリスマスリースは、「魔除け」「豊作祈願」「新年の幸福」を願って玄関を飾るもので、日本のお正月のしめ縄飾りと同じような意味合いがあるのだそうです。欧米ではクリスマスのか月前ほどから新年を迎えた一月六日まで飾るのだそうです。日本ではお正月にしめ縄飾りをするので、クリスマスが過ぎると外すのが一般的になっているとか。

**素敵ナリースができました**



でもクリスマスリースとしめ縄飾りの二つを融合した「しめ縄リース」とか「正月リース」といったものもあるらしい。いろんなものを取り込んで自分たちのものにしていく日本の文化はやっぱり平和でクールですね。

☆☆ 河辺地区 ☆☆

**秋田市視聴覚教育推進委員として**

秋田市社会福祉協議会 土田 祝子

私は、昨年度より秋田市視聴覚教育推進委員として、視聴覚教育事業・視聴覚ライブラリーと関わりを持っております。昨今自宅でも手軽に見ることが出来るDVDですが、ライブラリーでは、子ども向けにわかりやすく交通ルールを学ぶことができる安全教室の教材や、人生ドラマのDVD、本格的な16mmフィルム映画等様々なジャンルを揃え、貸し出しや視聴、出張上映会を行っています。

現在私は、河辺地域包括支援センターに勤務し、地域で暮らす高齢者の福祉や健康、介護、権利擁護等様々な相談を受け、支援を行ったり、住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごすため、介護や認知症予防に関する講演や、運動教室を開催する事業を行っています。

**16mm映写機**



当地域では、高齢者の社会参加・閉じこもり

予防・生きがいづくりの目的で、二十六か所の町内サロンが開催されています。そうした場に視聴覚ライブラリーの方が出張し、演歌のDVDに合わせて健康体操を行う「エンカサイズ」は特に人気があります。また、16mmフィルムで上映する昭和の頃の秋田市ニュースを見て、「懐かしい」といった声もきかれます。高齢の方が、みんなと一緒に体を動かし、懐かしい映像や物に触れることは、認知症予防にとっても効果的です。

このように、視聴覚メディアは様々な場で活用され、社会・学校教育の推進が図られています。私は、視聴覚教育推進委員として、今後も視聴覚教育の充実に努めていきたいと思っています。

**健康体操から（休憩中ではありません）**



《連載》社会教育・文化施設等

《秋田市新屋ガラス工房》

新屋ガラス工房 囑託 小牟禮美穂

平成二十九年七月十五日、古い町並みが残る新屋表町にオープンしたまちづくり拠点施設・秋田市新屋ガラス工房は、「住民主体のまちづくりの推進」、「歴史文化の伝承」、「ものづくりの振興と地域交流」をコンセプトとした施設です。地域の方々と一緒に、まちづくりに関わる人材を育て、訪れる誰もがガラス工芸をはじめとする、ものづくりを感じられる空間です。そして若いガラス作家が秋田で独立を目指し、日々創作にいそしむ場でもあります。



工房の外観

古い町並みにとけこんだ

ギャラリ、ショップ・カフェ、ガラス工房を有するこの施設では、ガラス工芸だけでなく、他の分野の作品展示を鑑賞したり、県内外の作家のガラス作品を購入したり、湧水コーヒーでくつろいだり、制作風景を見学したり、週末の吹きガラスの制作体験に挑戦したり、さまざまな楽しみを準備しています。所属作家は制作販売、体験等を通じて、独立に必要なノウハウを学んでいます。また、お祭りやイベントなどで地域の方々が集う場所として利用していただくのも楽しみです。地域の方々や、工芸に関心を持つ人々が行き来するようになれば、ガラスだけではなく、他分野の作家が工房を構えたり、新しい店が出来たり、まちに広がりが見られることでしょう。

備しています。所属作家は制作販売、体験等を通じて、独立に必要なノウハウを学んでいます。また、お祭りやイベントなどで地域の方々が集う場所として利用していただくのも楽しみです。地域の方々や、工芸に関心を持つ人々が行き来するようになれば、ガラスだけではなく、他分野の作家が工房を構えたり、新しい店が出来たり、まちに広がりが見られることでしょう。

そして、ガラス作家が独立する際、大切なのは応援してくださるファンです。秋田での独立が実現するよう、みなさんに独立応援団になっていただけたらと願っています。ガラス作家とガラス工芸が起爆剤となり、人が往来し、まちに変化が生まれ、賑やかになる、そんな未来を夢見ながら、みなさんのお越しをお待ちしています。

工房の若き精鋭たち

ハートは溶けたガラスよりも熱い



ホットショップ(吹きガラス室)の作業風景

秋田市新屋ガラス工房

住所 秋田市新屋表町五番二号  
電話 〇一八・八五三・四二〇一  
開館時間 午前九時～午後五時  
休館日 毎週火曜日  
※入館、観覧は無料です

吹きガラス制作体験  
中学生以上、事前申し込みが必要  
毎週土・日、午前(九時半～十二時) 三名  
午後(一時半～四時) 四名  
体験料 三二四〇円(税込み)

# 秋田県公民館連合会表彰

平成二十九年九月二十九日、鹿角市で開催された第六十七回秋田県公民館大会において、左記の方々が表彰されました。

表彰者

西部地区生涯学習奨励員

鈴木 ケイ子

表彰団体

中央地区学習ボランティア「コスモスの会」

代表 佐々木 成子

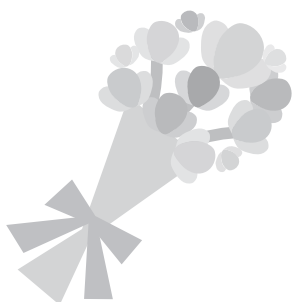
東部地区学習ボランティア「コスモスの会」

代表 奈 良 章 子

西部地区学習ボランティア「コスモスの会」

代表 鈴木 ケイ子

おめでとうございます。  
今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



## 生涯学習奨励員って・・・

地域における生涯学習を盛んにするためには、住民の身近なところで学習活動を奨励、援助する人が必要です。

生涯学習奨励員は、市町村や各種団体が主催する行事への参加を促したり、楽しい学習事例を紹介したりするほか、公民館や市民サービスセンターなどで開催される地域の行事を自ら企画したり、他の企画に進んで参加または応援、協力する等の役割を担っています。

## 「あしたの風」はどのように配布しているの？

「あしたの風」は年2回（9月と2月）各一、一〇〇部発行し、秋田県の社会教育施設（生涯学習センター、図書館など）や秋田市の社会教育施設（公民館、図書館など）、社会教育関係委員（社会教育委員、生涯学習奨励員など）に配布しています。  
このほか、市民サービスセンター、地域センター、コミュニティセンターにも配布しています。

ご希望の方は秋田市教育委員会生涯学習室（八八八―五八一〇）までご連絡ください。

## 編集後記にかえて

新年おめでとうございます。

86号も皆様のご協力をいただきまして無事発行することができました。心から御礼申し上げます。

地域活力の向上は、力と知恵の協力が不可欠であります。これまでに倍するご厚情を何卒よろしくお願い申し上げます。

（石塚）

## 編集委員（秋田市生涯学習奨励員）

田村 美穂子（土崎） 佐々木 孝（中央）

池田 チヅ子（東部） 相原 和子（西部）

乙 供 美 香（南部） 相澤 栄子（北部）

石塚 小枝子（河辺） 竹下 潮子（雄和）

## 『あしたの風』第86号

発行

平成30年2月1日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室

秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

単価 一部57円（消費税抜き）

発行部数 一、一〇〇部

配布方法 無料配布